

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (釜谷正博)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業 種目	急傾斜地崩 壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 5.0 億円
		急傾斜地崩壊対策事 業 < 庄境(2)地区 >	豊岡市 上庄境		

所在地			着工予定年度	完成予定年度
豊岡市 上庄境			H13年度	H15年度

事業目的		事業内容	
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危 険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の 生命及び公民館を保護する。		急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 特殊法枠工 L = 670m A = 5300m ²	

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地崩壊危険区域である。 保全人家50戸、公民館、県道口小野庄境線、及び市道がある。 平成11年、12年に、擁壁工裏法面に、集中豪雨による斜面崩壊が発生し、人家災害は無かったものの斜面は大変不安定な状況である。 毎年、表土流出があり、法面保全の必要性は高い。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 田園を縁取る豊かな緑の斜面は、地域の豊かな景観を構成するもので保全効果は高い
その他	<ul style="list-style-type: none"> 昭和50年に法指定され、一次対策工事は終了したものの、残存斜面は風化が進行し不安定な状態となっている。 集中豪雨による斜面崩壊が発生したこともあり、住民の不安は大きく、要望が大きい。
(2)有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象に人家の他、公民館、県道、市道があり事業効果が高い。 事業実施に向け、法指定済みである。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 法枠工を採用し、枠内は種子吹き付けを行い緑化を図る。 待受擁壁工は、化粧型枠を採用し、より自然に近い雰囲気にする。また、ツタ等による緑化を検討する。 斜面脚部を固定することにより、良好な緑の斜面を保全できる。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象に人家50戸、公民館・県道・市道があり、事業効果が高い。 一次対策は終了したものの、残存斜面の崩壊による災害、毎年の土砂流出が発生するなど、表土が緩んでおり、小規模な降雨でも崩壊の危険性が高いため、早急な防災対策が必要である。 地元要望は強く、事業執行体制は整っている。

評価 の 結果	着手妥当	左 の 理 由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
---------------	------	------------------	----------------------